

## 安定した機能で低価格を実現

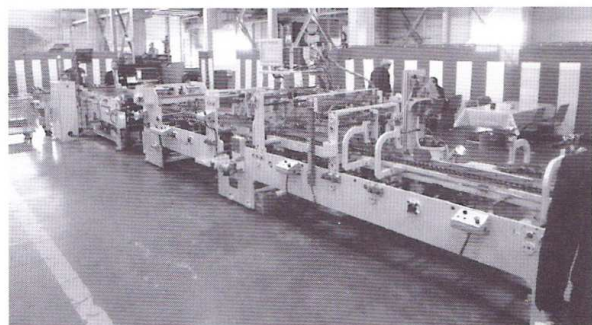
### 「新型サックマシン発表会」を開催

株式会社日本紙工機械グループ

日本紙工機械グループ（茨城県北相馬郡、☎0297-61-7117）は、2月9～11日の3日間、本社工場にて「新型サックマシン発表会」を開催。新型紙器用製函機「Nexia（ネクシア）」の発表・実演を行った。

従来“SUGANO”ブランドで高価格の特殊貼り機を販売してきた同社。今回のネクシアは、導入しやすい価格のスタンダードモデルとして開発された。設計コンセプトは「堅牢性」「使いやすさ」「販売価格の見直し」の3点を重視。同社が持つ技術のリソースを最大限に盛り込み、シンプルながら各部を精密に調整。安定した性能と低価格の両立を実現した。

- 堅牢性：機械の表面処理を見直し、メッキや塗装は高品質な塗料を採用。部位によっては鉄からステンレスに変更しサビ対策を行った。回転軸には耐久性に優れた部品を採用し、長寿命と力強いベルト搬送を実現。ベルトなど一部の消耗品以外の部品は10年保証とした。
- 使いやすさ：給紙部のインバーターモーターによる単独駆動方式を採用。オペレーターの手元操作で給紙速度の変更が可能。また、制御部をPLC制御に設計変更したことで、給紙間隔制御装置を追加できる。給紙ベル



三つのポイントを重点に開発した「Nexia（ネクシア）」



早部副社長

トの横移動方式により設置されているレバーを操作することで位置変更が可能。さらに、LMガイドの採用で、強度の向上や滑らかにスライドを実現。

給紙部のタッチパネルは、異常などが発生した場合には、どこかの停止ボタンが作動したか簡単に確認できる仕様。ソフトな触感で操作性の高いスイッチを採用した。

その他として、グルーガンはオプションで上糊ホイールに装備できる。サイド糊壺には清掃作業が簡単なスイング方式を採用した。

同社が開発した異物混入検査装置、間隔検査、曲がり検査などの装備もラインアップしている。

早部慎一郎副社長は「最近ではインライン検査の要望が多く、製函工程で印刷の色調の評価をしたいという声も上がっている。15年ほど前に印刷工程で高まったニーズが後工程に回ってきた気がする」と話す。ネクサスは当面、海外市場を中心に販売する計画で、同社では中国や欧米市場をターゲットに、3年で30台の販売目標を掲げている。☎

#### 【基本仕様】

製函形式：サイド貼、両側面貼、底貼

対応用紙：板紙

機械速度：20～250m/分